

ECO ACTION

21



MAJOR VENOUS JAPAN
メジャー ヴィーナス・ジャパン

環境経営レポート 2022年度版

対象期間：2022年4月～2023年3月

発行日：2023年9月1日

- 目次 -

- I. 組織の概要
- II. 対象範囲
- III. 環境経営方針
- IV. 環境経営目標の実績
- V. 中期環境経営目標
- VI. 環境経営計画の評価と次年度の取組内容
- VII. 社内ポスターの掲示に関して
- VIII. 社内貢献活動
- IX. 環境関連法規等の遵法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- X. 代表者による全体の評価

名称及び代表者

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

代表取締役 渡辺 弘三

所在地

東京エコファクトリー（本社） 東京都江東区新木場4丁目2番21号、25号

八丁堀事務所 東京都中央区八丁堀3-7-6 群成舎八丁堀ビル2階

設立

2015年12月10日

役員等の氏名

代表取締役	渡辺 弘三	2019年5月29日就任	常勤
取締役	大塚 健護	2015年12月10日就任	非常勤
監査役	釘宮 新一	2015年12月10日就任	非常勤

資本金

1億円

事業内容

鉄・非鉄・金属等の買取・販売、産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業。



- 2015.12.10 ● 東京都千代田区大手町1-7-2にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社を設立
- 2016.10.7 ● 東京都において古物商の許可を取得
- 2016.10.28 ● 東京都において産業廃棄物処分業の許可を取得
- 2016.11.1 ● 東京都江東区新木場4-2-21にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社東京エコファクトリーを開設
- 2016.11.7 ● 東京都において第一種フロン類充填回収業者登録
- 2016.12.26 ● 埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.1.20 ● 茨城県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.2.6 ● 神奈川県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.2.8 ● 千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.2.10 ● 東京都において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.5.29 ● 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（石綿含有産業廃棄物）
- 2017.5.29 ● 東京都において特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（廃石綿等）
- 2017.8.31 ● 三重県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
- 2017.12.26 ● 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（汚泥、金属くず）
東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理を追加
- 2018.3.22 ● 東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理の種類の追加（ゴムくず）、破碎処理を追加（廃蛍光灯）
- 2018.7.5 ● 東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（積替え保管の保有量の変更（石綿含有産業廃棄物））
- 2021.10.28 ● 東京都において産業廃棄物処分業の許可更新 優良認定取得
- 2021.12.27 ● 埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得
- 2022.3.29 ● 千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得
- 2022.3.31 ● 東京都において廃棄物再生事業者登録 金属くずの再生事業
- 2022.4.1 ● 八丁堀事務所（営業事業所）を開設
- 2023.4.1 ● 東京都江東区新木場4-2-21のメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社東京エコファクトリーに本社移転

組織の概要

2023.4 現在

事業の規模

【役員数】 3名（常勤 1名）

【従業員数】 61名

東京エコファクトリー	事務所	22名
	現場	25名
八丁堀事務所		14名

【売上高】 3,293百万円

※第8期決算（2022年4月～2023年3月）

【面積】 建物面積 3643.61m²

土地面積 6611.57m²

A棟事務所 234.60m²

B棟事務所 74.50m²

A棟工場 1763.30m²

B棟工場 1485.00m²

八丁堀
オフィス2階 86.21m²

【積替保管施設】

積替え保管面積：4,100m²

最大保管高さ：2.59m

積替保管廃棄物の種類

保管量

廃石綿等	コンテナ1個	30m ³
汚泥、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物に限る）	コンテナ3個	77.6m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く）に限る。）	ドラム缶1個	0.2m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	ドラム缶2個	0.4m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃蛍光灯（水銀使用製品産業廃棄物）に限る）（破損したものに限る。）	ドラム缶3個	0.6m ³

事業の規模

圧縮	
廃プラ	187 t/日
金属くず	390 t/日
混合処理能力	501 t/日

圧縮梱包	
廃プラ	1095 t/日
紙くず	1251 t/日
繊維くず	562 t/日
ゴムくず	1628 t/日
金属くず	3538 t/日
混合処理能力	1084 t/日

切断	
廃プラ	295 t/日
木くず	271 t/日
金属くず	1132 t/日
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	616 t/日
混合処理能力	830 t/日

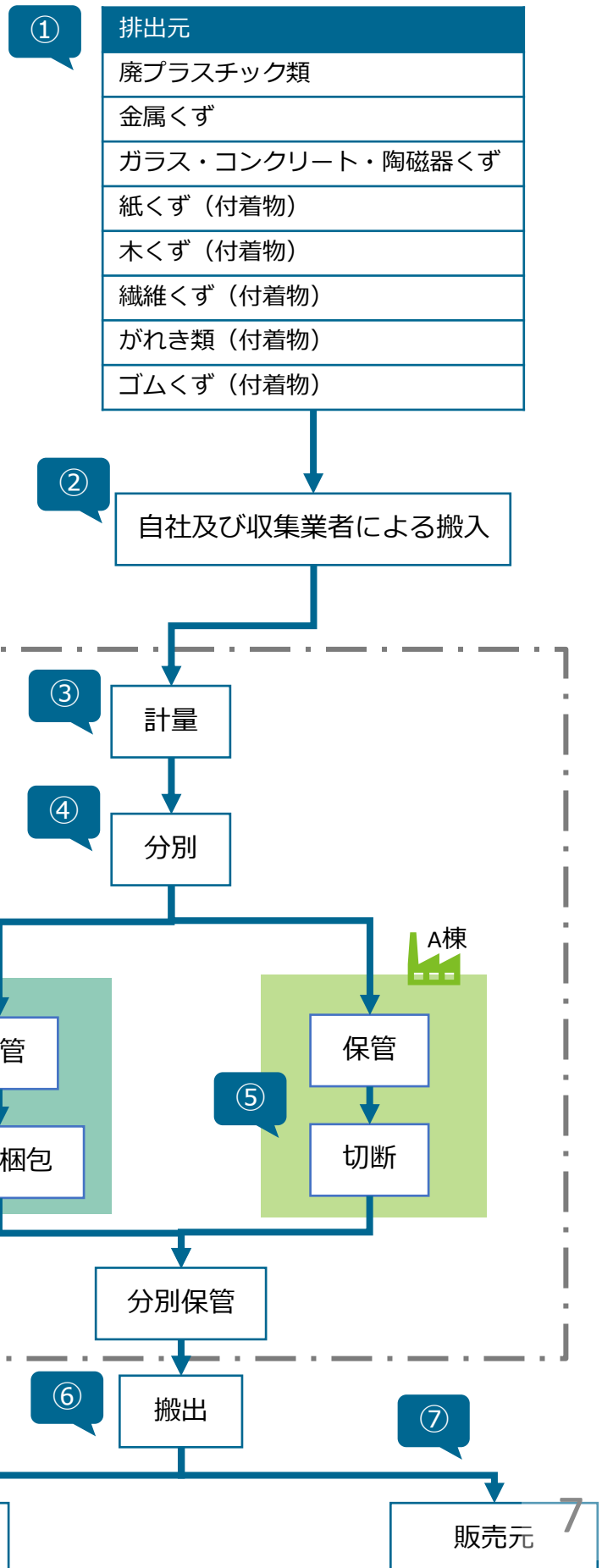
破碎 (廃蛍光ランプ(水銀使用製品産業廃棄物))に限る	
廃プラ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず 混合処理能力	19200 本/日



事業の規模

【圧縮梱包・切断工程】

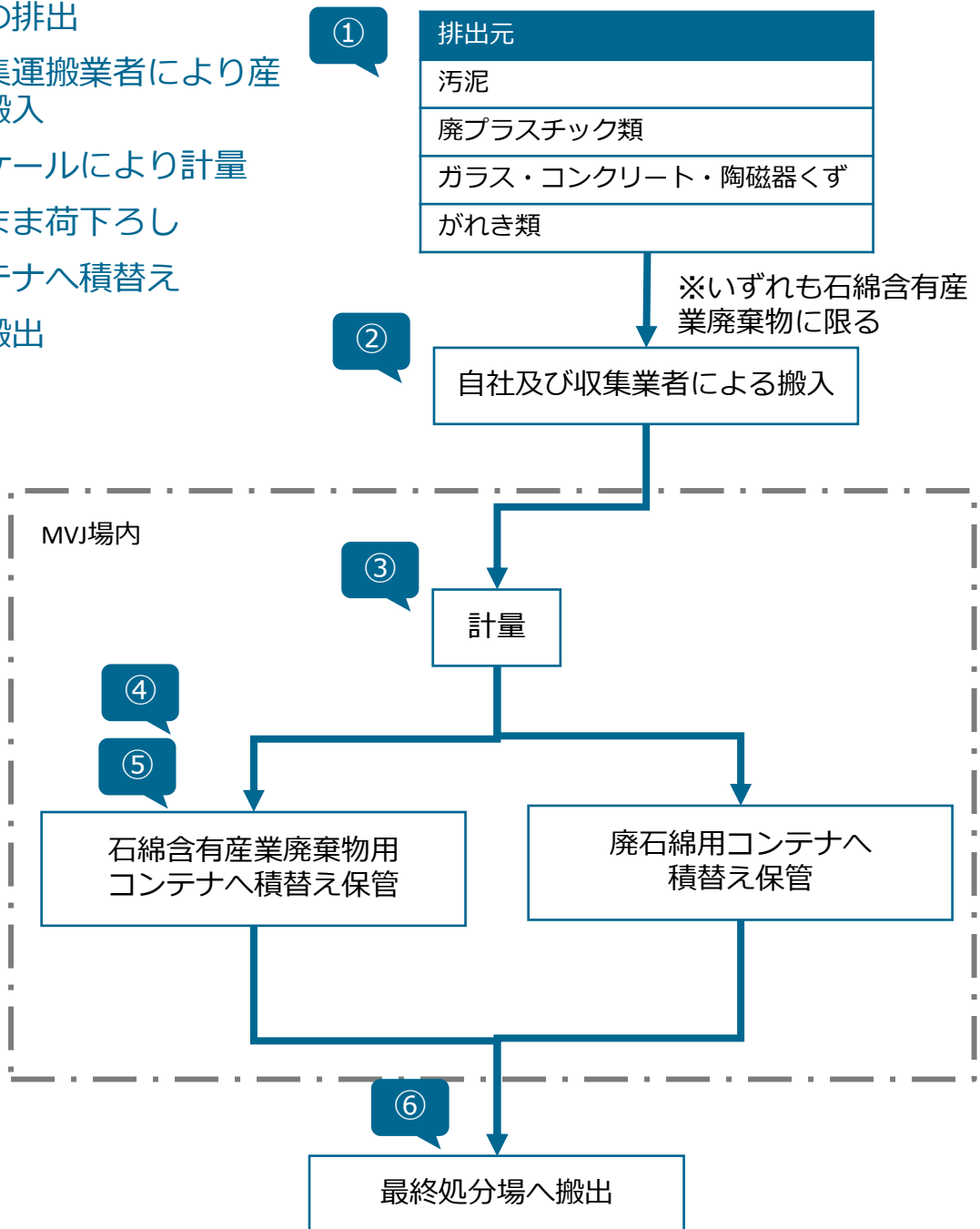
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 種類ごとの分別
- ⑤ プレス機により圧縮・シャーリングによる切断
- ⑥ 自社又は他社により搬出
- ⑦ 販売又は最終処分場へ搬出



事業の規模

【積替保管工程（石綿含有産業廃棄物及び廃石綿）】

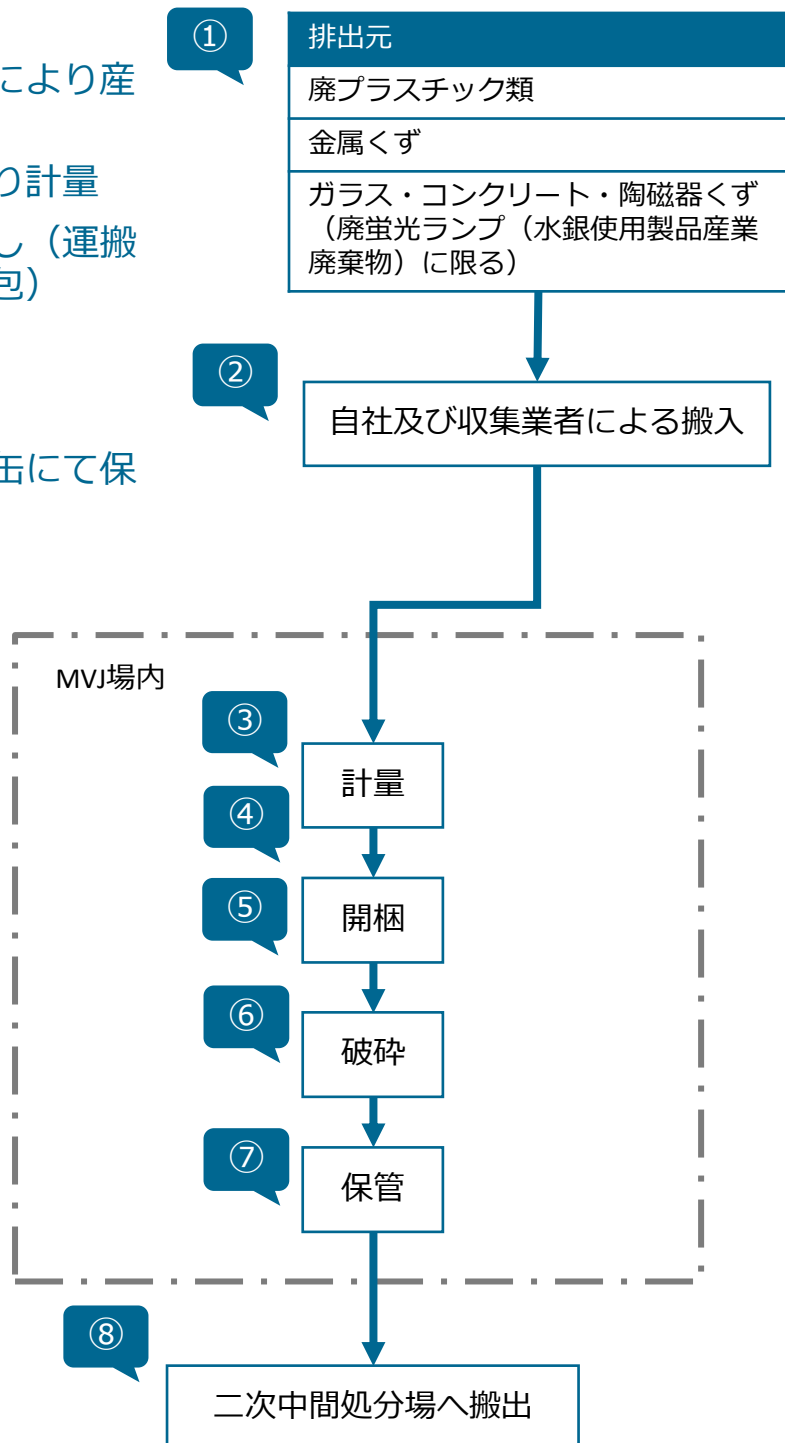
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 梱包状態のまま荷下ろし
- ⑤ 保管用コンテナへ積替え
- ⑥ 自社による搬出



事業の規模

【破碎工程（廃蛍光ランプ）】

- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 梱包状態のまま荷下ろし（運搬中に割れないように梱包）
- ⑤ 開梱し、保管
- ⑥ 破碎機による破碎
- ⑦ 破碎後廃棄物をドラム缶にて保管
- ⑧ 他社による搬出



事業の規模

処理実績（2022年4月～2023年3月）

収集運搬量	1,883 t (内積替え保管分1,824 t 含む)
中間処理量	18,330t
スクラップ量	33,123 t

自社ホームページURL

 <https://major-venous.co.jp>



事業登録

許可都道府県：**東京都**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物処分業	13-20-190368	R3.10.28	R10.10.27	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず
産業廃棄物収集運搬業	13-57-190368	R4.2.10	R11.2.9	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん、政令13号
特別管理産業廃棄物収集運搬業	13-00-190368	R4.2.10	R11.2.9	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
古物商	301131606619	H28.10.7	なし	
再生事業者登録	370	R4.3.31	なし	金属くず
第一種フロン類充填回収業	13105428	H28.11.7	R8.11.6	CHC、HCFC、HFC

事業登録

許可都道府県：**千葉県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	01200190368	R4.3.29	R11.2.7	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	01250190368	R4.3.29	R11.2.7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県：**神奈川県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	01400190368	R4.5.16	R11.2.5	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	01450190368	R4.5.16	R11.2.5	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県：**埼玉県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0110019 0368	R3.12.27	R10.12.25	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0115019 0368	R3.12.27	R10.12.25 7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県：**茨城県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0080119 0368	R4.4.28	R11.1.19	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0085119 0368	R4.4.28	R11.1.19	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県：**三重県**



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0240019 0368	R4.8.31	R11.8.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん、処理するために処理したもの
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0245019 0368	R4.8.31	R11.8.30	引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃石綿等

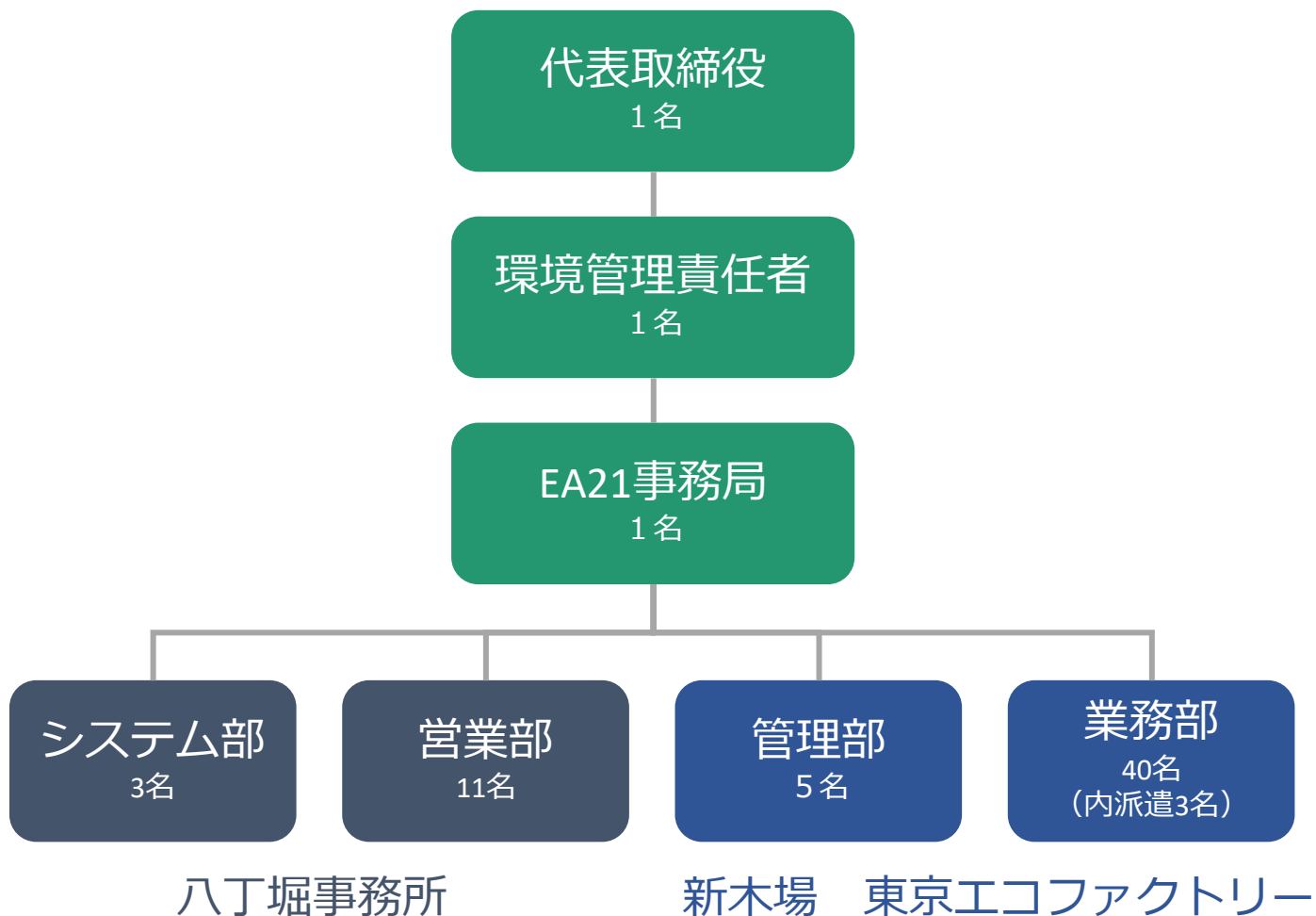
使用車両等

- ①営業車 4台
- ②収集運搬車 6台
- ③重機 6台



車種	車両用途	燃料	車両番号
トヨタ シエンタ	営業車	ガソリン+電気	3056
日産 ノート e-Power	営業車	ガソリン+電気	5569
日産 ノート e-Power	営業車	ガソリン+電気	1956
トヨタ プリウス phev	営業車	ガソリン+電気	922
いすゞ 2tダンプ	収集運搬車	軽油	7725
いすゞ トレーラー	収集運搬車	軽油	21
日野 トレーラー	収集運搬車	軽油	29
三菱 4tパワーゲート	収集運搬車	軽油	1357
三菱 ヒヤブ	収集運搬車	軽油	8059
いすゞ 4tアームロール	収集運搬車	軽油	4392
コマツ バッテリーフォークリフト × 4台	重機	電気	
コマツ ディーゼルフォークリフト	重機	軽油	
コマツ ユンボ (0.45m³)	重機	軽油 (GTL)	
日立 ユンボ (0.7m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネユンボ (0.9m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネユンボ (0.7m³)	重機	軽油 (GTL)	

組織図



役割、責任、権限

職名	役割・責任・権限
代表取締役	環境経営全般に費用関する統括責任
	環境方針を策定し、従業員に周知する
	環境管理責任者を任命する
	実施及び管理に必要な人、設備、時間を用意する
	エコアクション21の全体評価と見直しの実施する
	経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	環境管理システムの評価及び、対策を行う
	環境活動の取組結果を代表者に報告する
	環境法令遵守の責任を持つ
	エコアクション21文書類(環境方針を除く)の承認を行う
EA21事務局	環境管理責任者の補佐
	環境管理システムの構築、文書化、実施運営を行う
	環境への負荷の自己チェックを評価する
	環境への取組の自己チェックを評価する
	環境経営レポート
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	自主的・積極的な環境活動への参加
	関連する法規制等を遵守する
	教育・訓練を実施する
営業部	社会貢献活動報告書
	環境負荷データ
管理部	事故対応マニュアル
	活動計画管理表
	是正措置及び予防措置
	教育訓練計画
	環境関連法規
業務部	防火訓練
	安全衛生作業手順書
	大気中アスベスト濃度検査
	設備電力使用量
	外部苦情受付
システム部	環境負荷データ

<基本理念>

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は深刻さを増し、それらへの対応は人類共通の重要課題となっている。

このような状況に対し、メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社では、リサイクル事業と廃棄物処理事業の推進により循環型社会の形成に貢献することが総合リサイクル業としての社会的使命であると認識し、そのため、全従業員が一体となり地球環境及び地球環境の保全と環境負荷の低減に向けて積極的な施策を推進し、日々の業務に取り組む。

<活動指針>

1 エコアクション21に適合するマネジメントシステムを運用し、継続的に改善するとともに、環境改善に努める。

2 当社の業務に関する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

業務を通して一人ひとりが知恵を出し合い、以下に取り組む。

- 3**
- ①資源回収推進とリサイクルの高度化
 - ②地域社会への貢献
 - ③省資源・省エネルギー化の推進（カーボンニュートラル）
 - ④環境に配慮した製品の購入

4 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、公表する。環境方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開する。

制定 2017年5月1日
改定 2019年7月1日
2022年4月1日
2023年4月1日

環境経営目標の実績

2022年目標値と実績の比較一覧

項目		2022年実績	2022年目標	判定	評価
総搬入量 (t)		53,672	58,964		総搬入量は少ないが、業務時間を延長し（夜間対応）、暖房器具（灯油）利用増となった結果、二酸化炭素の排出量が増えた。
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO2)	301,335	301,639	△	
	原単位換算	5.61 (109.7%)	5.12		
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	1,119,349	1,159,487	△	二酸化炭素の排出はないが、経営環境の観点から費用削減のため、節電に取り組む。工場の夜間対応の開始により、稼働時間が増えたため、電気の使用量が増えている。
※燃料の合計値はあくまで参考値	原単位換算	33.79 (107.1%)	31.57		
※八丁堀事務所の電力は今年度より計測開始。今回は評価対象外となるが、実績値のみ22ページにて報告。	ガソリン (L)	1,144	1,770.12	○	昨年に比べガソリンの使用量が抑えられている。
	原単位換算	286.0 (64.6%)	442.53		
	燃料 (L) ※参考値 (a)[b][c]トータル)	120,681.0	121,203	○	昨年度より場内使用燃料をGTLに移行しており、今年度はほとんど場内燃料（軽油）は使用なし。アスベストの運搬量増加のため車両の運行距離が増えている。
	[a] 場内燃料軽油 (L)	586	7,377		
	原単位換算	0.03 (8.7%)	0.36		
	[b] GTL燃料 (L)	68,601	77,082		
	原単位換算	1.28 (97.8%)	1.31		
	[c] 車両燃料 (L)	51,494	36,744		
	原単位換算	0.41 (119.8%)	0.34		
	都市ガス (m³)	95	126	○	使用量が減っている上、従業員数が増えたため原単位上よくなっている。
原単位換算	1.98 (67.7%)	2.92			
灯油 (L)	888	608	×	夜間対応など、工場の稼働時間が増えたため、灯油の使用量も増えている。	
原単位換算	18.5 (130.9%)	14.14			
水使用量	上下水道 (m³)	1,162	1257	○	従業員数は増えているが、節水の効果が出て全体としても使用量が減っている。
	原単位換算	24.21 (83%)	29.2		

※GTLとは...Gas to Liquidsの略称。天然ガス由来の製品であり、環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料。

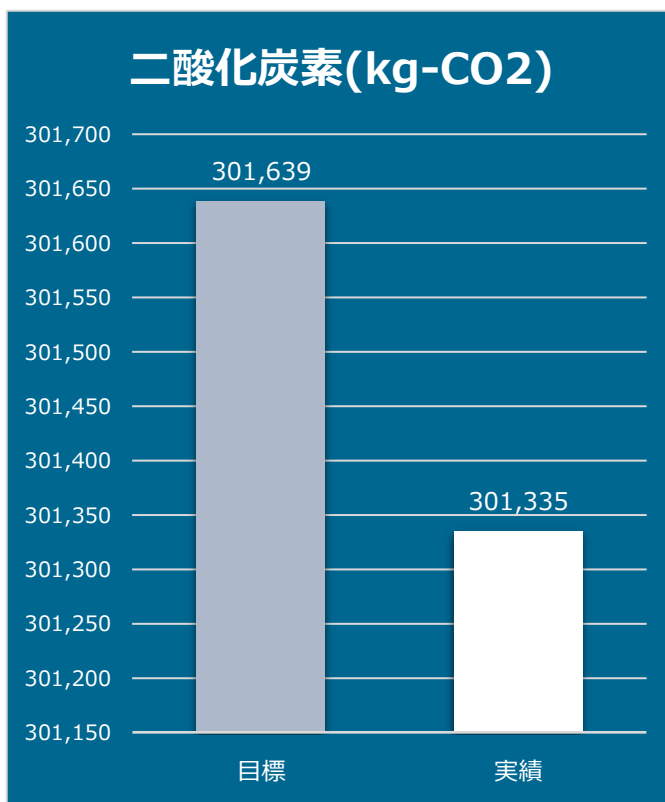
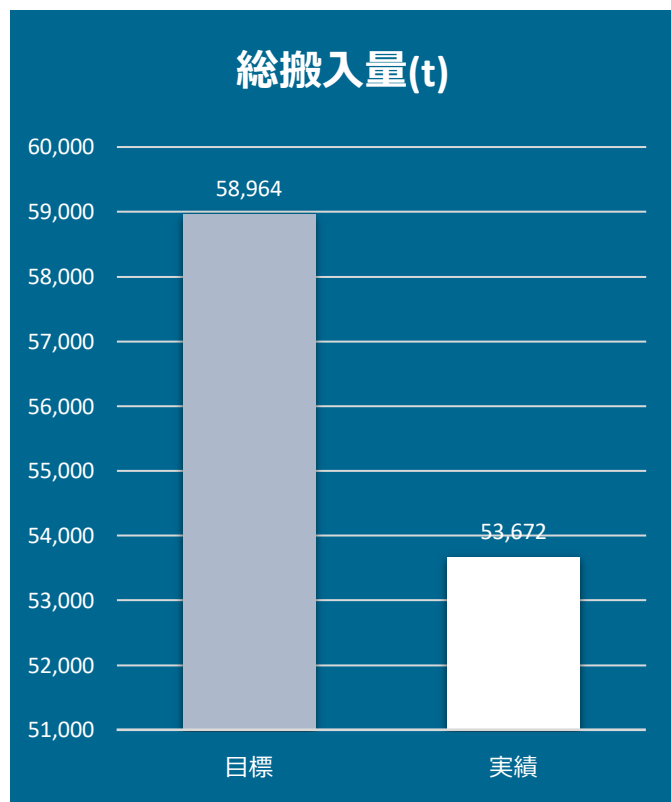
※原単位はそれぞれ、次ページ以降の詳細に計算方法を記載。

※○：達成 △：～10%未達成 ×：10%以上未達成

※自社排出の廃棄物 新木場1日2袋、八丁堀週に2袋を維持できるよう努めています。

環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
総搬入量 (t)		53,672	58,964
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	301,335	301,639
	原単位換算	5.61 (109.7%)	5.12



※二酸化炭素(kg)/総搬入量(t)

判定	評価
△	総搬入量は少ないが、業務時間を延長し（夜間対応）、重機の運用時間が増となった結果、二酸化炭素の排出量が増えた。

環境経営目標の実績

電力 新木場工場分

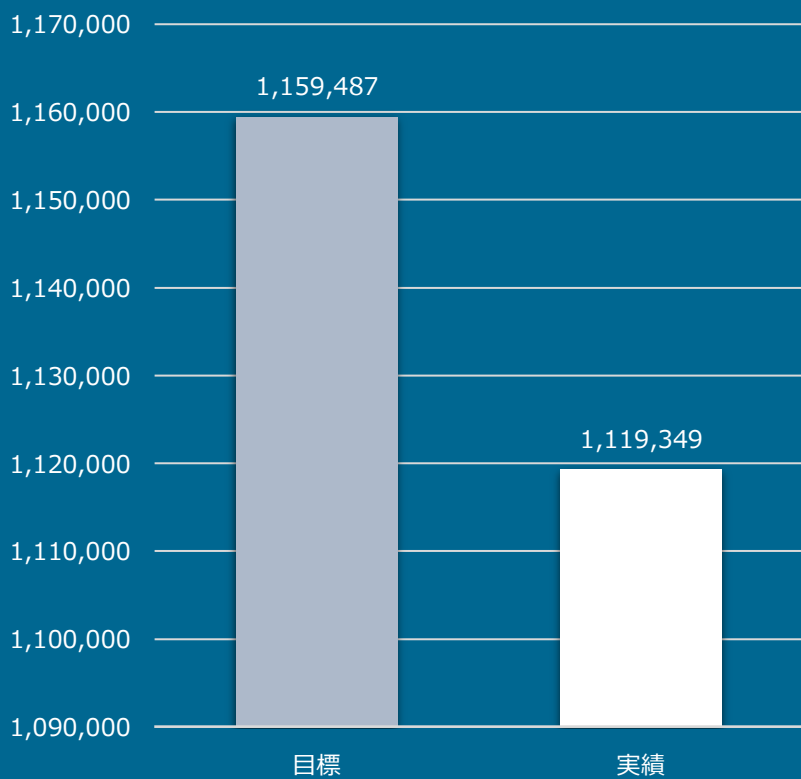
項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	1,119,349	1,159,487
	原単位換算	33.79 (107.1%)	31.57

CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

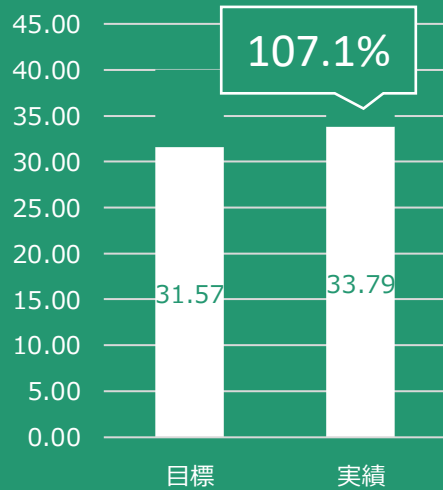
0

※2021年5月より100%再生可能エネルギーを利用しているため、CO2の排出係数は0。

購入電力(kWh)



原単位換算



※購入電気量(kWh)/金属スクラップ受入(t)

判定	評価
△	<p>二酸化炭素の排出はないが、経営環境の観点から費用削減のため、節電に取り組む。工場の夜間対応の開始により、稼働時間が増えたため、電気の使用量が増えている。</p>

環境経営目標の実績

電力 八丁堀事務所分

※今年度より計測開始。来年度より評価対象とする。

※今年度の実績値のみ報告。

項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	11,130	-
	原単位換算	795	-
	CO2排出量 (kg-CO2/kWh)	4,185	

※原単位計算

購入電気量(kWh)/八丁堀事務所所属従業員数

CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

0.376

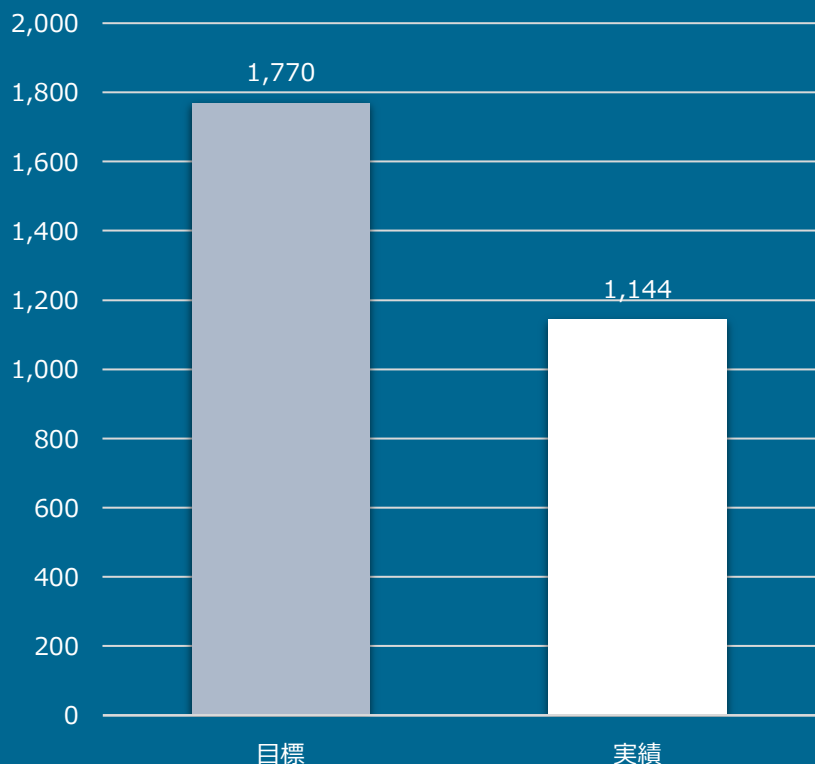
環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量	ガソリン (L)	1,144	1,770.12
	原単位換算	286.0 (65%)	442.53
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	2,654.08	4,106.68

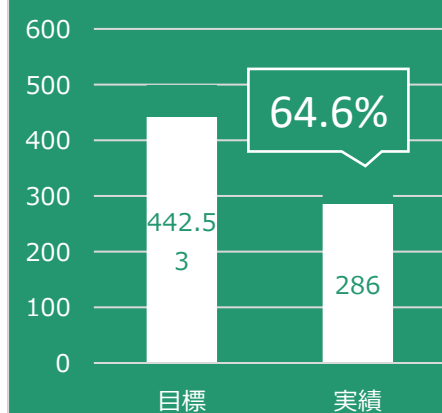
CO2排出係数(kg-CO2/L)

2.32

ガソリン(L)



原単位換算

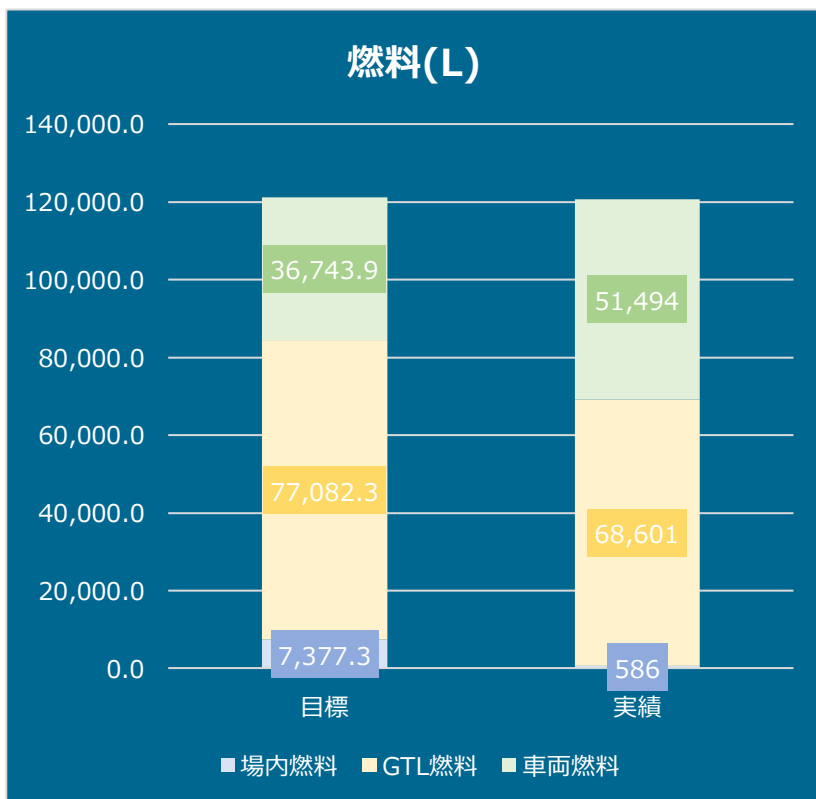


※ガソリン(L)/営業車台数(台)

判定	評価
○	昨年に比べガソリンの使用量が抑えられている。

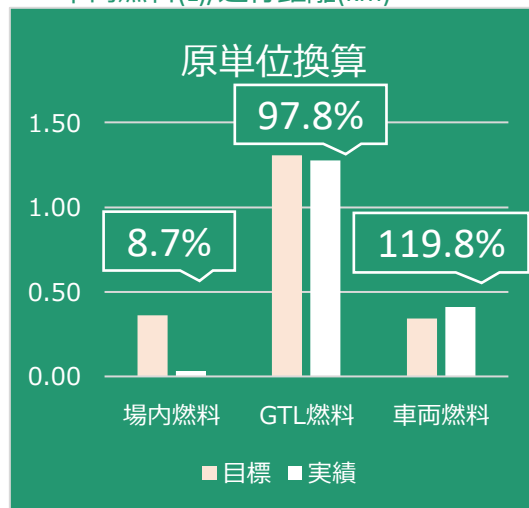
環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで参考値	燃料 (L) ※参考値 ([a][b][c]トータル)	120,681	121,203
	[a] 場内燃料 (軽油) 軽油 (L)	586	7,377
	原単位換算	0.03 (8.7%)	0.36
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	1,511.88	19,033.51
	[b] GTL燃料 (L)	68,601	77,082
	原単位換算	1.28 (97.8%)	1.31
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	161,898.36	181,914.17
	[c] 車両燃料 (軽油) (L)	51,494	36,744
	原単位換算	0.41 (119.8%)	0.34
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	132,854.52	94,799.13



CO2排出係数(kg-CO2/L)	
軽油	GTL燃料
2.58	2.36

※場内燃料(L)/産業廃棄物(t)
GTL燃料(L)/総搬入量(t)
車両燃料(L)/運行距離(km)



判定	評価
○	<p>昨年度より場内使用燃料をGTLに移行しており、今年度はほとんど場内燃料（軽油）は使用なし。アスベストの運搬量増加のため車両の運行距離が増えている。</p>

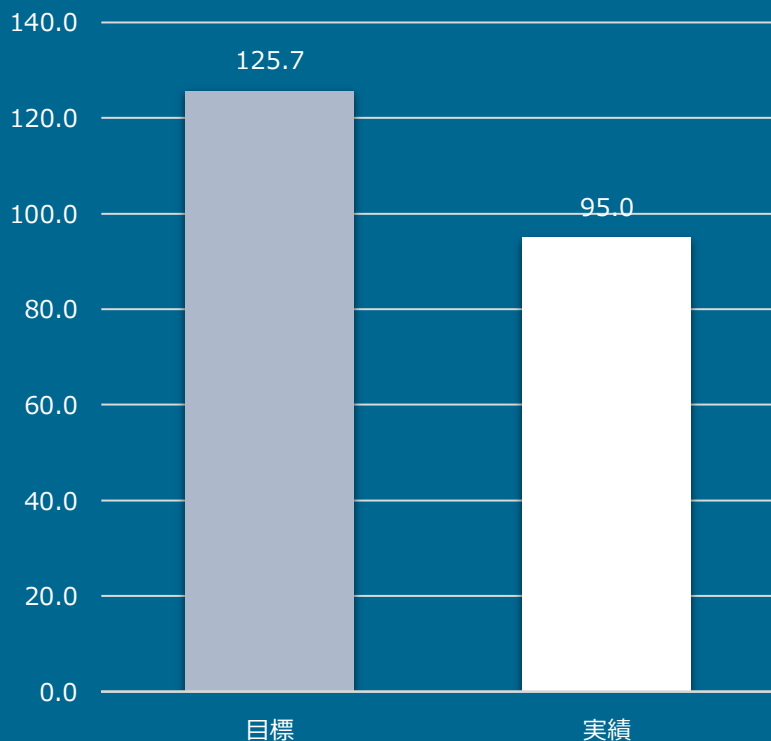
環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量	都市ガス (m ³)	95	126
	原単位換算	1.98 (67.7%)	2.92
	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /m ³)	205.2	271.58

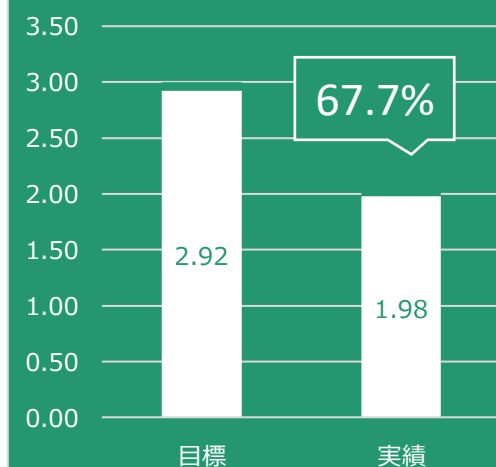
CO₂排出係数(kg-CO₂/m³)

2.16

都市ガス(m³)



原単位換算



※都市ガス(m³)/従業員数(人)

判定	評価
○	使用量が減っている上、従業員数が増えたため原単位上よくなっている。

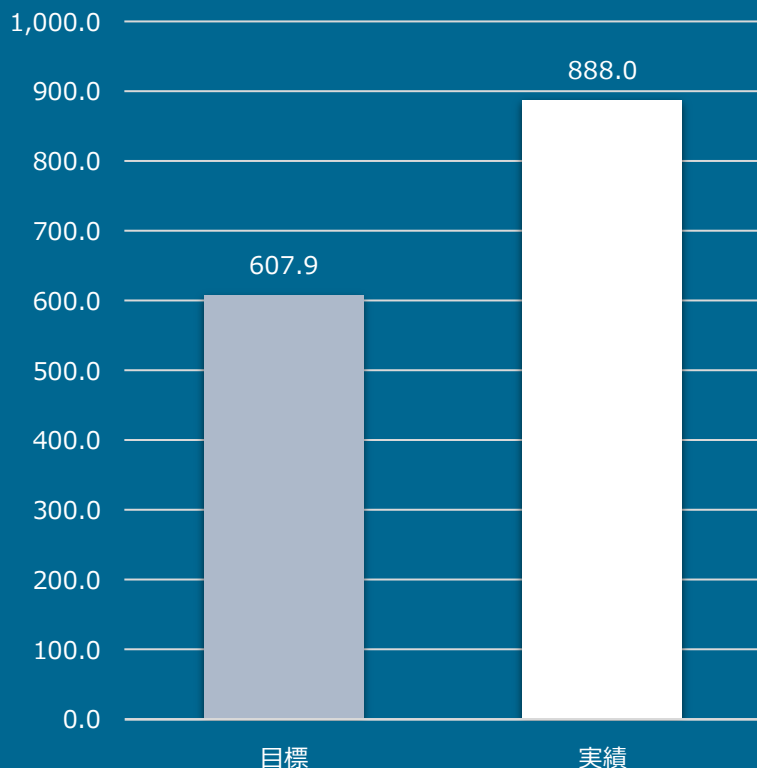
環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
エネルギー使用量	灯油 (L)	888	608
	原単位換算	18.5 (130.9%)	14.14
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	2,211.12	1,513.57

CO2排出係数(kg-CO2/L)

2.49

灯油(L)



原単位換算



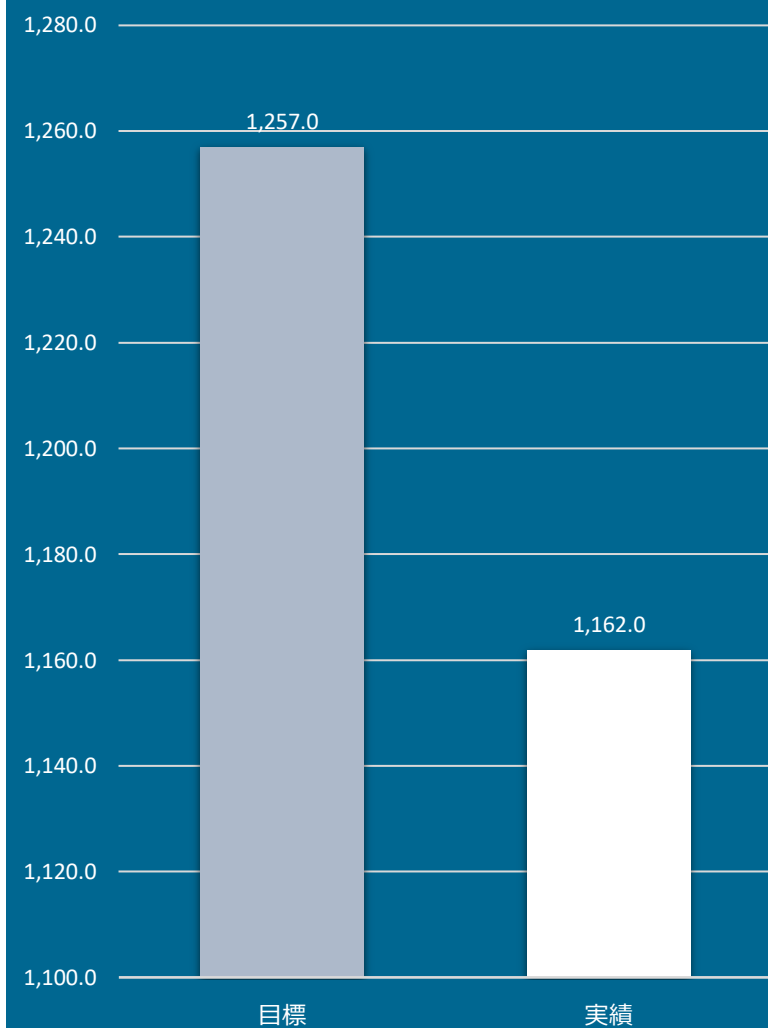
※灯油(L)/従業員数(人)

判定	評価
×	夜間対応など、工場の稼働時間が増えたため、灯油の使用量も増えている。

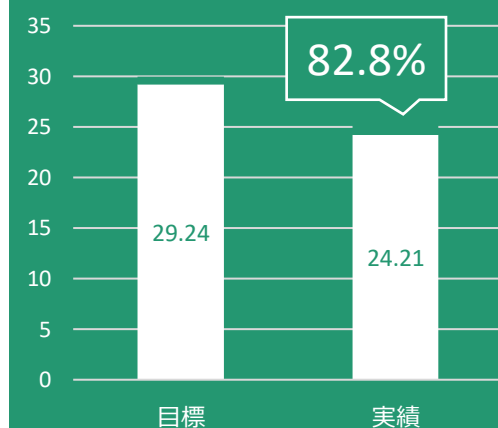
環境経営目標の実績

項目		2022年実績	2022年目標
水使用量	上下水道 (m ³)	1,162	1257
	原単位換算	24.21 (82.8%)	29.24

上下水道(m³)



原単位換算



※上下水道(m³)/従業員数(人)

判定	評価
○	従業員数は増えているが、節水の効果が出て全体としても使用量が減っている。

中期環境経営目標

中期目標（2021年度の実績を元に、2024年度までの目標を策定しました。）

環境配慮商品の購入については、事務用品の購入等可能なところから着手しその実績を踏まえて2024年度に目標設定を行う。

項目		2021年度	各年度目標		
			2022年度	2023年度	2024年度
		実績	基準年原単位 1%減	基準年原単位 2%減	基準年原単位 3%減
総搬入量 (t)		56,019	58,964	60,748	62,132
温室効果ガス 排出量 ※2023年度より 八丁堀事務所電力分を含む	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	337,200	301,639	307,968	313,314
	原単位目標	6.02	5.12	5.07	5.04
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで 参考値	購入電力 (kWh) 新木場	1,081,215	1,159,487	1,147,775	1,136,063
	原単位目標	31.89	31.57	31.25	30.93
※八丁堀事務所 の電力目標値は2022実績 値を元に制定。 2023年原単位 1%減、2023年 度原単位2%減。	購入電力 (kWh) 八丁堀	-	-	11,019	10,907
	原単位目標	-	-	787	779
	ガソリン (L)	1,788	1,770.12	1,752.24	1,734.36
	原単位目標	447	442.53	438.06	433.59
	燃料 (L) ※参考値 ([a][b][c]トータル)	118,662	121,203	122,137	121,558
	[a] 場内燃料 (L)	7,534	7,377	7,938	8,345
	原単位目標	0.364	0.360	0.356	0.353
	[b] GTL燃料 (L)	74,013	77,082	77,826	77,211
	原単位目標	1.32	1.31	1.28	1.24
	[c] 車両燃料 (L)	37,115	36,744	36,373	36,002
	原単位目標	0.344	0.341	0.338	0.334
	都市ガス (m ³)	127	126	124	123
	原単位目標	2.95	2.92	2.89	2.86
	灯油 (L)	614	608	602	596
	原単位目標	14.28	14.14	13.99	13.85
	水使用量	上下水道 (m ³)	1,270	1,257	1,245
	原単位目標	29.53	29.2	28.94	28.65

※原単位はそれぞれ、「環境経営目標の実績」の詳細ページに記載。

※自社排出の廃棄物 新木場1日2袋、八丁堀週に2袋を維持できるよう努めています。

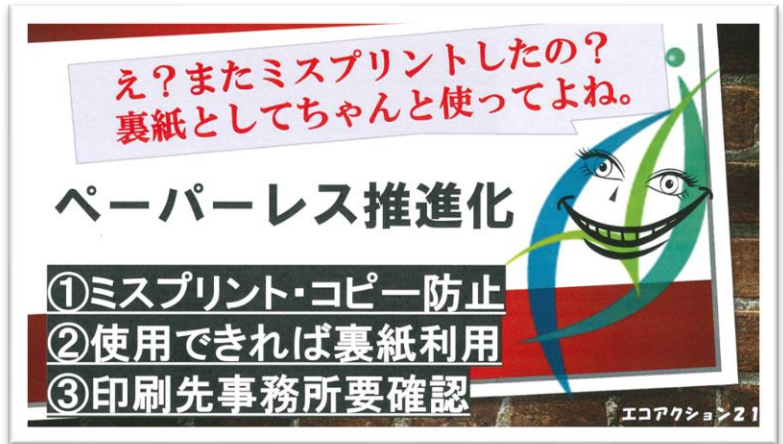
2022年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容

取組結果【○良好 △不足】

項目 (特段の記載があるものを除き通年実施)	判定結果	判定		次年度の取組内容
		理由	代表者評価	
オフィス電力使用量の削減（責任：管理部）	△	工場の夜間対応の開始による稼働時間の増。	稼働時間が増えているのはやむを得ないが、その中でも節電に取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要、休息又は昼休み時間の電灯の消灯 ・不必要機器等の電源OFFの徹底
車両燃費の向上（全社）（責任：営業部）	○	意欲的に取り組んだ結果。	引き継ぎエコな運転が心がけましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・車内エアコンの適正な温度管理及び急発進、急ブレーキの禁止について社内周知をする（ポスター作成や電子掲示板の作成） ・燃費データの計測
工場用電力使用量の削減（責任：業務部）	△	工場の夜間対応の開始による稼働時間の増。	稼働時間が増えているのはやむを得ないが、その中でも節電に取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（夏季：室内温度27℃、冬季：室内温度20℃） ・休息及び昼休み時間における工場で使用している電気機器の電源のOFF ・工場内設備、照明及び冷暖房機器の節電 ・使用していない設備のこまめな電源OFF
廃棄物排出量（責任：管理部）	○	意欲的に取り組んだ結果。	エコキャップ活動やゴミの分別など今後も継続的に取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカップ、マイバッグの使用 ・従業員への分別の呼びかけ ・ごみ分別表作成の作成
上水使用量の削減（責任：管理部）	○	節水についてのポスターを作成・掲示し、意欲的に取り組んだ結果	従業員数が増えても使用量が削減できているので、今後も継続的に取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ステッカー等の貼り付けによる社員への節水の意識づけ

社内ポスターの掲示に関して

節電、節水等と呼びかけるポスターを作成し、末端社員まで浸透するよう、エコアクション21の意識の醸成を行っています。



社会貢献活動：エコキャップ運動

飲み終わったペットボトルのキャップを集めて、リサイクルを行っている「エコキャップ推進協会」に送付しています。

エコキャップ 受領書

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 御中
ID: 94731
分類: 会社
ご住所: 東京都江東区新木場4-2-21
FAX番号: 03-5569-1797

2023/03/31



今回受領個数: 516 個 累計個数 (2023/03/31時点): 9,847 個

受取日	数量	個数(約)	備考
2023/03/31	1.20kg	516個	

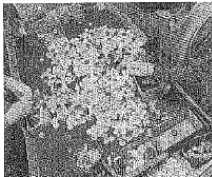
ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量
⇒ 72.13kg
※キャップ1kgで約3,150gのCO2が発生します

第10期に新たにご参加いただいたエコステーションをご紹介します

エコキャップ推進協会の活動の目的の一つとなっております障がい者支援としてエコステーション構想があります。今回は2016年9月より新たにご参加いただいた岐阜県にあり「NPO法人 生活支援ハウス アンアン」さんをご紹介します。



理事長 原田さまより
エコキャップは回収することからすでに社会とつながっています。分別・シールはがしなど得意とすることを見つけ、やり方を工夫することによって障害がある人も参加できる仕事になります。

全文は、エコキャップ推進協会ホームページをご覧ください。
http://ecocap.or.jp/report_20151225.html
エコキャップ新聞2号に掲載

ご協力いただける施設を募集しております。法人本部までお問い合わせください。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に、掲載させて頂きます

エコキャップ運動に参加いただいている企業のCSR、SDGsのパナー広告を募集しています。このパナー広告は寄付金扱いになります。

パナー広告掲載料は年間30,000円・50,000円になります。
掲載させていただいた場合、企業・団体のロゴをクリックすると企業・団体のHP(URL)に移動し、企業・団体のCSR、SDGsの活動等のご紹介をします。
詳細はこちら https://ecocap.or.jp/csr_apply/

エコキャップ 受領書

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社
八丁堀事務所 御中
ID: 96745
分類: 会社
ご住所: 東京都中央区八丁堀3-17-6
FAX番号: 03-6222-9062

2022/11/09



今回受領個数: 507 個 累計個数 (2022/10/27時点): 507 個

受取日	数量	個数(約)	備考
2022/10/27	1.18kg	507個	浅野様

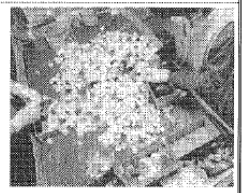
ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量
⇒ 3.72kg
※キャップ1kgで約3,150gのCO2が発生します

第10期に新たにご参加いただいたエコステーションをご紹介します

エコキャップ推進協会の活動の目的の一つとなっております障がい者支援としてエコステーション構想があります。今回は2016年9月より新たにご参加いただいた岐阜県にあり「NPO法人 生活支援ハウス アンアン」さんをご紹介します。



理事長 原田さまより
エコキャップは回収することからすでに社会とつながっています。分別・シールはがしなど得意とすることを見つけ、やり方を工夫することによって障害がある人も参加できる仕事になります。

全文は、エコキャップ推進協会ホームページをご覧ください。
http://ecocap.or.jp/report_20151225.html
エコキャップ新聞2号に掲載

ご協力いただける施設を募集しております。法人本部までお問い合わせください。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に、掲載させて頂きます

エコキャップ運動に参加いただいている企業のCSR、SDGsのパナー広告を募集しています。このパナー広告は寄付金扱いになります。

パナー広告掲載料は年間30,000円・50,000円になります。
掲載させていただいた場合、企業・団体のロゴをクリックすると企業・団体のHP(URL)に移動し、企業・団体のCSR、SDGsの活動等のご紹介をします。
詳細はこちら https://ecocap.or.jp/csr_apply/

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係機関及び近隣からの違反の指摘、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法的義務を受ける環境関連法規制は次の通りです。

(1/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
廃棄物の処理及び世相に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物の排出者（事業者、市民）-排出事業者について記述	適切な分別、3Rの推進	○
		産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	○
		保管基準 ・産廃置場60cm×60cm以上表示 ・飛散・浸透防止 ・衛生管理	○
		努力義務（県条例で必須あり）産廃処理現場の定期的確認（他社に依頼も可）	○
		マニフェストの管理	○
		排出者の管理表報告書の提出	○
	産業廃棄物の収集運搬、中間処理	収集・運搬・処分等の基準	○
		保管基準の順守	○
		管理者の設置	○
		委託基準の順守	○
		契約締結	○
		マニフェスト管理	○
		処理基準の順守	○
		施設の維持管理	○
		帳簿の記載義務	○
		処理実績報告	○
		石綿の保管基準 覆い、囲い、梱包等	○
		特定施設事故時の処置、届出	○
		水銀使用製品産業廃棄物に係る新たな措置 ・適正保管（分別保管と掲示） ・委託契約書及びマニフェストへの記載	○
			32

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(2/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
特定家庭用機器再商品化法	家電4品目の購入・使用後の廃棄	廃棄者として適正な廃棄	○
小型家電リサイクル法	対象品目の処理	廃棄者として適正な廃棄 (パソコン、電話機、携帯電話、プリンターなど)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (略称「フロン排出抑制法」/旧：フロン回収破壊法)	第一種特定製品のフロン類の回収・運搬	回収業者登録	○
		フロンの引取り・引渡し義務	○
		行程管理票の運用	○
		記録の作成、保存、報告	○
		「破壊証明書」「再生証明書」の交付・回付	○
	フロン機器所有者の責務	フロン機器の定期点検及び点検記録の保存	○
		一定量以上のフロン漏えい時のフロン漏えい量の事業所管轄大臣への報告	○
消防法	指定可燃物	届出、表示	○
	消防用設備(消火器)等	設置と維持管理 同上届出検査点検報告	○
労働安全衛生法	指定施設(フォークリフト等)	自主検査、特別検査の実施	○
	教育・研修	雇用時教育、特別教育、リーダー研修	○
	指定業務	就業制限(免許又は講習受講が必要)	○
	事故の発生、傷病の発生	監督署への報告	○
	作業	安全基準の順守	○
	測定及び記録	作業場の石綿濃度測定(年2回)	非該当
	事業場	衛生基準の順守	○

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(3/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
古物営業法	古物を売買、交換、委託を受けて売買、委託を受けて交換をする営業を行うもの	許可の取得	○
		相手方の確認義務	○
		不正品の申告義務	○
		帳簿等への記載義務	○
東京都環境確保条例	ディーゼル車規制		○
	自動車一般		○
東京都アスベスト廃棄物の適正処理指導方針			非該当

代表者による全体の評価

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 代表者 渡辺 弘三

1. 評価に必要な情報

- ・環境経営目標の実績
- ・2022年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容
- ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2. 代表者（代表取締役）によるコメントおよび評価

環境経営目標に関して、7項目を1項目満点2点評価として、14点満点中10点、約7割達成しています。現状達成項目は今後も維持し、未達項目灯油の使用量に関しては、不要時の休止等こまめな運用を心がけてください。

また、今年度は、社内ポスター案を各部から募集し、コンテスト形式にすることで、環境活動をただ周知するだけでなく、楽しく取り組めるよう工夫する等、新しい試みもありました。各部門からEA21の推進メンバーを選定し、体制を強化したことで生まれたアイデアもあるかと思えます。今後の取り組みにも期待しています。

3. 環境経営方針について

2023年4月に環境経営方針の見直しを行ったばかりであり、重ねての変更の必要性はない。

4. 環境経営目標・環境経営計画について

原単位年率1%削減目標を継続し、環境経営計画に定める活動を着実に実施すること。

5. 実施体制について

EA21事務局の誰が担当しても作業を進められるガイドを記載して業務効率向上を図る。